

経営比較分析表（令和5年度決算）

宮城県丸森町 丸森町国民健康保険丸森病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド I	救 臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
11,911	6,360	第2種該当	-	13：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	35	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
45	16	61

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

町内唯一の一次医療と入院医療を担う基幹的な医療機関として、保健・医療・福祉の連携を図りながら、町民の生命と健康を守るため、良質な医療を安定的に提供するとともに、各種健診・健康づくり事業などの疾病予防、介護予防に積極的に取り組み、地域の医療水準の向上に貢献する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度の経営状況は、非常に厳しい結果となった。経常収支比率については、前年度92.9%から83.8%へ、医療収支比率については、前年度79.3%から73.4%へ、修正医療収支比率については、前年度70.3%から63.6%へ、それぞれ経営指標が悪化しており、さらに、職員給与費対医療収支比率および材料費対医療収支比率も上昇している。その結果として累積欠損金が増加した。累積欠損金が増加した主な要因は、医療収益の減によるものであるが、前年度と比較して、歯科常勤医師が退職したことに伴う歯科自費の減、および、新型コロナウイルス予防接種の減の影響が大きい。令和6年度についても、大規模工事（ZEB工事）の影響で、一時的に入院制限を伴う期間があり、入院収益が減少する見込みであるため、令和5年度決算以上に厳しい決算が予想される。

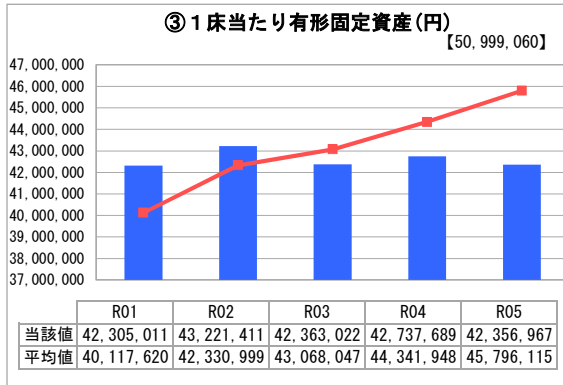
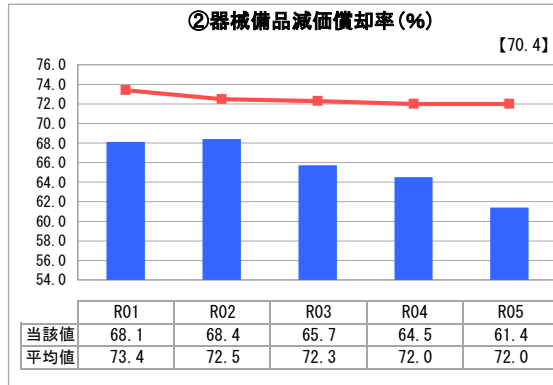
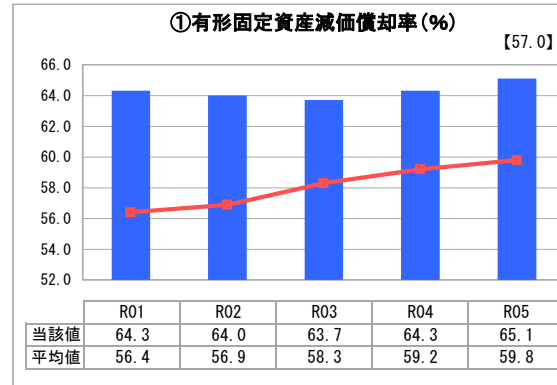
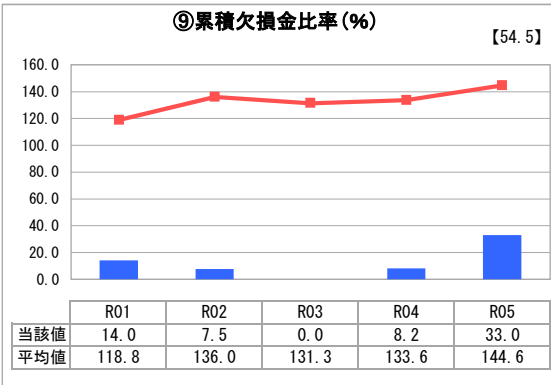
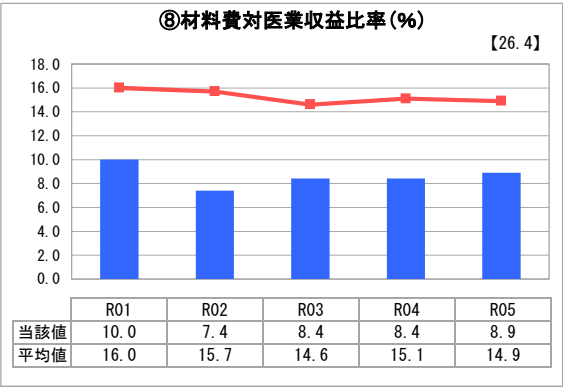
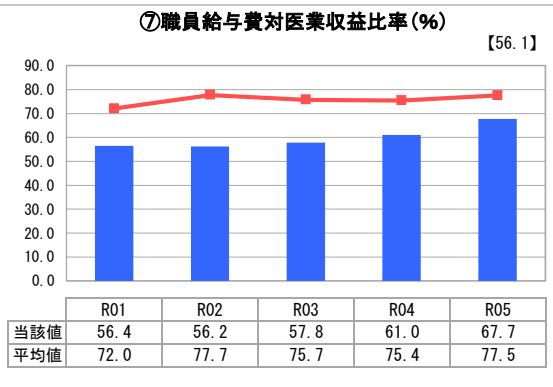
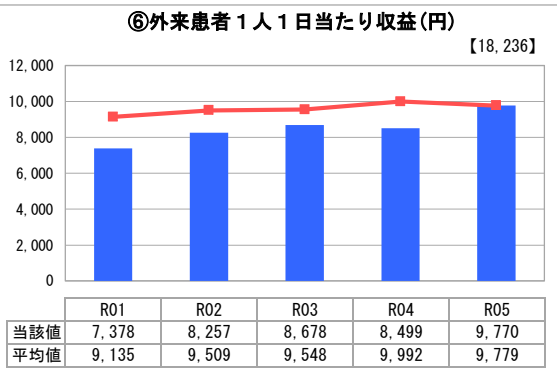
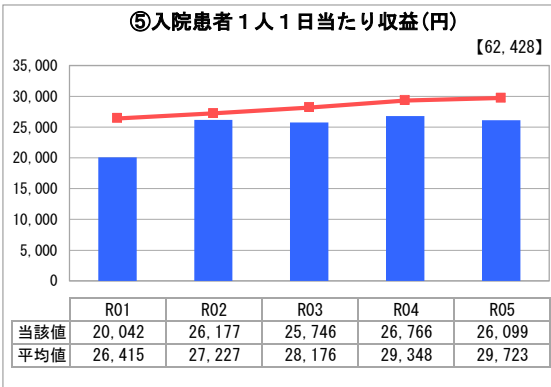
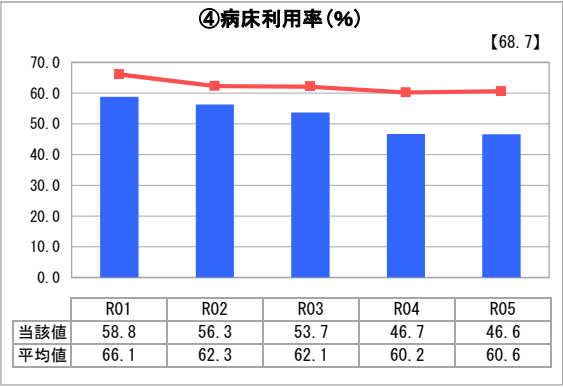
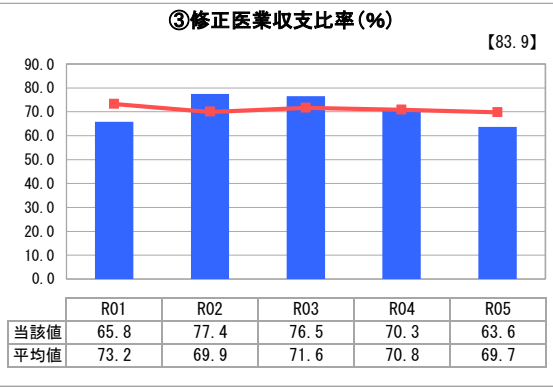
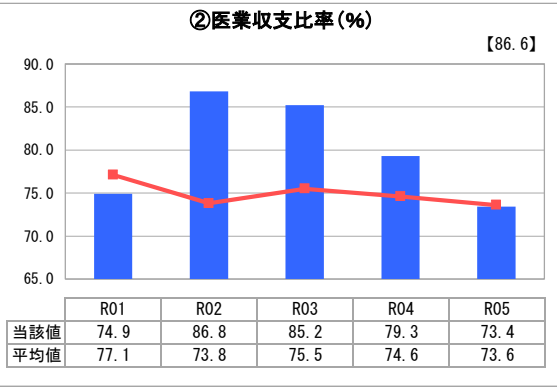
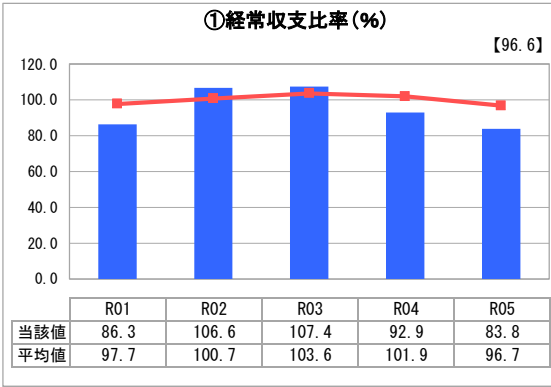
2. 老朽化の状況について

病院本体建物は築27年であり法定耐用年数内にあるものの、本体と一体となっている空調や電気などの機械備品などは、法定耐用年数を経過している。また、医療用機械備品については、令和元年東日本台風により使用不能となった機器の更新をしたことから、その償却率が大幅に減少し、全国平均も下回った。有形固定資産減価償却率については、現状では全国平均を上回っている状況にあるが、令和7年度にZEB工事が完了した後は、本体と一体となっている空調や電気などの機械備品の償却率が大幅に減少する見込みである。

全体総括

病院本体等、有形固定資産の状況は、総じて老朽化が進んでいるのに加え、経営状況においては、令和元年東日本台風被害及び新型コロナウイルス感染症という外的要因が続いたとはいえ、年々経営指標数値が下降傾向にある。総合的に判断すると、経営の健全性・効率性に欠けていることから、今後も経営の抜本的改革が必要であると思われる。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。